

平成 23 年 12 月 1 日

北葛城郡町議会議員研修（全議員研修）報告

日 時 平成 23 年（2011 年）11 月 29 日 13 時 30 分～15 時 20 分
場 所 広陵町総合保健福祉会館（さわやかホール）4 階大会議室
参加者 議員 6 名（東、堀内、長岡、辻、石丸、富木）
議会事務局 2 名（下間、山下）
講 師 みたぞの さとし 三反園 訓 氏（テレビキャスター、早稲田大学大学院講師）
テーマ どうなる日本の政治・経済
～東日本大震災の今後の日本を読み解く～

(1) 大阪都構想を巡る動きについて

大阪のダブル選挙（大阪府知事・大阪市長選挙、2011 年 11 月 27 日投票）での橋下パワーはすごかった。勝った割にはとても冷静で、選挙戦も実に上手かった。（平松陣営からの）体制翼賛会だとの独裁批判に対して、危機的な時ほどリーダーシップが重要だと主張し、圧倒的な支持を得た。

永田町でも大きな注目を集めており、大阪都構想（と橋下氏）の動きについては、民主も自民も（正直いって）びびっている。いずれ地方自治法の改正が不可欠であり、その時の（政府と国会の）対応が課題となる。

写 真
(三反園 訓 氏)

維新の会はいまのところは大阪だけであり、全国的な広がりは見受けられない。既成政党は距離を置く（と思われる）が、みんなの党とは組む可能性がある。

橋下氏は総理を目指すだろうが、総理にはなれない。総理になるためには（衆議院議員の）過半数以上が必要である。少数政党で総理になった例は、細川内閣（第 79 代、1993 年 8 月 9 日～94 年 4 月 28 日）にあるが、今日とは選挙制度の違い（1996 年から導入、中選挙区制から小選挙区・比例代表制に変更）がある。

但し、大阪都構想は日本を変える契機になる可能性を秘めており、みんなの党と維新の会が組んで、50（議席）位でキャスティングボートを握ることも考えられる。その場合、総理は渡辺（喜美）氏だろう。村山内閣（第 81 代、1994 年 6 月 30 日～95 年 8 月 8 日、少数与党から総理就任）の例でも分かる通り、永田町は何でもありだ。

(2) 総理としての激務について

野田総理とは早稲田大学時代の同級生であり、いまはとても多忙で大きな重圧にあえいでいる。差し詰め内憂外患というところだ。

歴代総理の様子は、奥さんへの取材で手に取りようによく分かる。常にファーストレディは1人だけで、政府専用機で移動する。橋本総理（第82～83代、1996年1月11日～98年7月30日、久美子夫人）の例、「もう二度としてやってもらいたくない」。細川総理（前掲、佳代子夫人）の例、「辞めてよかった」。大平総理（第68～69代、1978年12月7日～80年6月12日、長女・森田芳子さん）の例、「体張ってでも阻止したかった」。菅総理（第94代、1998年6月8日～99年9月2日、伸子夫人）の場合は例外で、叱咤々々々々であった。

(3) 国政と政局の動向について

これからの国政と政局の注目点は、TPP交渉と消費税導入であり、(24年、2012年) 4、5、6月にかけて解散含みの展開になる。

①野田政権は、TPP問題を先送りにし、来春以降に持ち越した。その結果、(民主党代表の)任期は24年9月までであることも関連して、4、5、6月(衆議院)解散含みの展開となる。オバマ(米大統領)戦略は、大統領選挙(2011年11月6日投票)を前に雇用促進を図る

ことにある。交渉は日米で明らかにすれ違いを起こしており、米は全品目で自由化交渉をずらしている。日本は外交交渉がとても下手であり、先行き大苦戦が予想される。

②消費税問題は、12月に山場を迎える。野田総理は2015年に10%への引き上げを目標に、年内に方針決定したいといっているが、(民主)党内に140～150人の反対議員を抱えている。この方針は先に国際公約にまでなっていることから、消費税引き上げ法案を2回に分け「消費税準備法案」を24年3月に提出する意向だ。それも党内の反対で通過しない可能性もある。

③これに対する自民党の動きとして、谷垣総裁の任期は24年9月であるが、4、5、6月政局に特例公債法案と予算を人質に、話し合い解散をめざしているのではないか。政界は狐と狸の化かし合いであり、はっきり言えないところがある。

④野田総理は4、5、6月政局で支持率が30%を切ると交代もある。その場合、人気があるのは前原氏が一番、小沢氏が手を上げる可能性もある。その一方で、消費税を巡って民主党の支持率が下がった場合に、党の分裂もあり得るし、9月が黄信号となる。

写 真
(会場風景)

⑤自民党も支持率が上がっていないし、通常（解散総選挙で勝たない限り）では谷垣総裁は再選がない。一番候補は石破氏だが、石原氏は長老受けし、安部氏も再起をねらっている。

⑥消費税のほか、景気と年金の問題も必ず焦点になってくる。デフレと将来不安が（国民の間で）横行しており、永田町と政府も放置できない。

⑦日本では消費税を上げた政権は負けるジンクスがあるが、スウェーデンを見習って、政府と国民の信頼関係を築かなければならない。スウェーデンは削減が先でその後に税を上げるが、日本では自分達は楽（定数削減を棚上げ）をし、消費税を上げる（国民負担を求める）ことが先行しているのではないか。

(4)総理になるための5条件

総理になるための5条件の話があったが、その指摘は我々政治に携わるための心得でもあると、置き換えても何ら差し支えはないと思われる。

①見た目が大事。その人物の雰囲気、特に女性に人気があること。中曽根総理（第7～73代、1982年7月7日～87年11月6日）は、教養と凄みを相手に感じさせた。

②言葉の力は政治家の命。発信力・説明力・説得力と誠実さ・人間性を感じさせることが必要。地域や会社でも、その人の言葉によって情熱と閃きを感じさせ、発想の違いで、勝ち組・負け組に分かれる。

③絶対にぶれないこと。首尾一貫することによって信念・覚悟が伝わり、その人に対する大きな信頼が生まれる。

④体力が備わっていること。肉体と精神がともに健全であることが条件で、何をやっても疲れぬ強さが要る。逆の場合は、何をやっても批判される場合は疲れる。

⑤運に恵まれること。持って生まれた運もあるが、努力することで開ける運もある。負けた悔しさをバネに、頑張れば運も開けるというものだ。

(5)最後に言っておきたいこと

村山富市氏（前掲、自民・さきがけ・社民の連立内閣の総理）は、なる積もりがなく総理のなった人。

川島正次郎氏（衆議院議員14回、千葉1区、自治庁長官など）の言葉、「政界一寸先は闇」。24年の政界に当てはまるか。

金丸信氏（衆議院議員12回、山梨全県区、副総理ほか）は、腹黒い、たぬき爺などと言われた。

厳しい世の中を何とかしなきゃ。夢・希望を持って、勇気・創造たくましく、生きて行きたい。

以上